

韓国環境部プレスリリース 2020年2月4日付

## 京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出 (野生いのしし 149-164 例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1286460&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は京畿道(キョンギド) 坡州市(パジュシ) 津東面(チンドンミョン)、京畿道(キョンギド) 漣川郡(ヨンチョンゲン) 百鶴面(ペッカカンミョン) および旺澄面(ワンジンミョン)、江原道(カンウォンド) 華川郡(ファチョンゲン) 華川邑(ファチョンウプ) で発見された野生いのしし死体 16 個体から ASF ウイルスが検出されたと 2 月 4 日明らかにした。

○2 月 1 日坡州市(パジュシ)、津東面(チンドンミョン) 序曲りで発見された死体は民間制限線内山の斜面で狩猟人によって発見された。2 月 2 日から 3 日まで華川郡(ファチョンゲン)、華川邑(ファチョンウプ) 新邑里(ウムニ) と豊山(プンサン) リで発見された死体 10 個体のような日漣川郡(ヨンチョンゲン)、旺澄面(ワンジンミョン)、古棧(コジャン) 下痢で発見された死体は全部環境部捜索チームによって発見された。

○2 月 3 日華川邑(ファチョンウプ) 上西面(サンソミョン) で発見された死体は住民によって山で発見され、同日漣川郡(ヨンチョンゲン) 百鶴面(ペッカカンミョン) で発見された死体 2 個体と旺澄面(ワンジンミョン) で発見された死体は農作業中の住民によって山で発見された。

○坡州市、漣川郡および華川郡は野生いのしし ASF 標準行動指針により試料を採取して現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は 2 月 4 日死体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで坡州市では 50 件、漣川郡は 45 件、華川郡では 50 件の野生いのしし ASF 陽性事例となり、全国的には 164 件になった。

□国立環境科学院生物安全研究チーム長は“最近陽性死体が多数発見されているのは、冬季の採餌や交尾等により、野生いのしし間の接触が増加したことが原因だと見ている。捜索を強化し、死体の発見数はさらに増えるだろう”と話した。

以上